

平成24年6月1日

山口県景気動向指数（C I）の作成・公表について

山口県総合政策部統計分析課

1 景気動向指数とは

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された指標である。

景気動向指数には、コンポジット・インデックス（C I）とディフュージョン・インデックス（D I）がある。C Iは構成する指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ（量感）を、D Iは構成する指標のうち、改善している指標の割合を算出することで景気各経済部門への波及の度合い（波及度）を測定することを主な目的とする。

2 C Iの作成・公表について

本県では、昭和57年10月から山口県景気動向指数として、D Iを作成し、公表している。

近年、景気変動の大きさや量感を把握することがより重要になっていること、また、国（内閣府経済総合研究所）が平成20年4月速報分（平成20年6月9日公表）からC Iを中心とした公表形態に移行していることもあり、本県においても、C Iを算出するとともに、平成24年3月分（平成24年6月1日公表）からC Iを中心とした公表形態に移行することとした。

なお、D Iは参考指標として、引き続き、作成・公表することとした。

3 利用の仕方

C Iは、主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定することを目的としており、一般的に、一致C Iが上昇しているときは景気の拡張局面、低下しているときは後退局面であり、一致C Iの動きと景気の転換点は概ね一致する。一致C Iの変化の大きさから、景気の拡張または後退のテンポを読み取る。

D Iは、採用系列のうち、3ヶ月目と比較して改善している指標の割合のことで、景気各経済部門への波及の度合いを表す。月々の振れがあるものの、一致D Iは、景気拡張局面では50%を上回り、後退局面では下回る傾向がある。